

暖

暖冬だんとうで暖あたかく

雪も少ない

今年の冬



②-1 1 5

補

無^なくなつた

分ぶんを補おぎなうのが

「補給」ほきゆう



②-116

拝

礼拝堂

心こころ静しずかに

神かみを拜おがむ



②-1 1 7

郵

郵便局で

郵便切手



②-118

暖

暖冬で暖かく

雪も少ない

今年の冬



② - 1 1 5

補

無|
く
な
つ
た

分
を
補
う
の
が

「補給」



② - 116

拜

礼拜堂

心
静
か
に

神を拜む



②-117

郵

郵便局で

郵便切手を



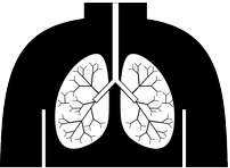
②-118

肺

胸の

呼吸をするところが

「肺臓」



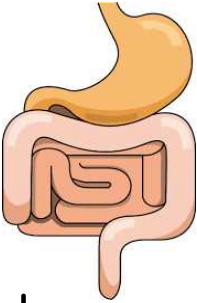
② - 1 2 2

腸

腹の中

大腸・小腸・

十二指腸



② - 1 2 1

胃

食べ過ぎて

ああ胃が痛い

胃薬だ




② - 1 2 0

仁

「医は仁術」

思いやりの心を

「仁」という



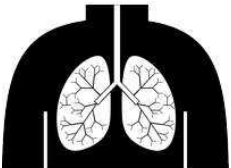
② - 1 1 9

肺

胸の

呼吸をするところが

「肺臓」



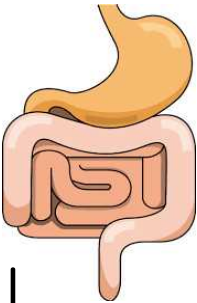
② - 1 2 2

腸

腹の中

大腸・小腸・

十二指腸



② - 1 2 1

胃

食べ過ぎて

ああ胃が痛い

胃薬だ




② - 1 2 0

仁

「医は仁術」

思いやりの心を

「仁」という



② - 1 1 9

暮

日

が

暮

れて

辺

り

は

暮

色


に

包

ま

れ

た



②

—

1

2

6

至

難

しい

こ

と

を

「

至

難

の

技

」

と

い

う



②

—

1

2

5

姿

晴

れ

姿

良

い

姿

勢

で

写

真

を

撮

ろ

う



②

—

1

2

4

脳

大

脳

と

小

脳

か

ら

で

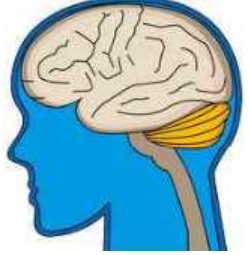
き

て

い

る

脳



②

—

1

2

3

暮

日

が

暮

れて

辺

り

は

暮

色

に

包

ま

れ

た



②

—

1

2

6

至

難

しい

こ

と

を

「

至

難

の

技

」

と

い

う



②

—

1

2

5

姿

晴

れ

姿

良

い

姿

勢

で

写

真

を

撮

ろ

う



②

—

1

2

4

脳

大

脳

と

小

脳

か

ら

で

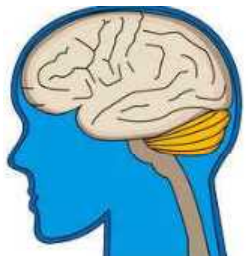
き

て

い

る

脳



②

—

1

2


3

革

動物の革で

作った

皮革製品




② - 1 3 0

垂

水が垂れる

垂線を描く

ように



② - 1 2 9

幕

張った中に

将軍がいた

ので「幕府」



② - 1 2 8

奏

楽器を奏で

交響曲を

演奏する




② - 1 2 7

革

動物の革で

作った

皮革製品




② - 1 3 0

垂

水が垂れる

垂線を描く

ように



② - 1 2 9

幕

張った中に

将軍がいた

ので「幕府」



② - 1 2 8

奏

楽器を奏で

交響曲を

演奏する



② - 1 2 7

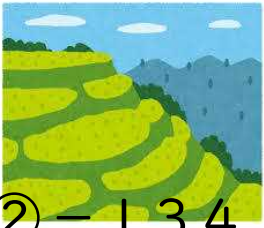
段々畑

階段のように

耕す

段

山の斜面



② - 1 3 4

助けたマザーテレサ

困っている人々を

貧困で

困



② - 1 3 3

承諾した

承りました。

承

「その件、確かに」



② - 1 3 2

批評する審査員

作品の

できばえを

批



② - 1 3 1

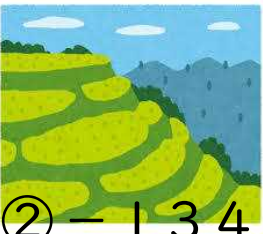
段々畑

階段のように

耕す

段

山の斜面を



② - 1 3 4

助けたマザーテレサ

困っている人々を

貧困で

困



② - 1 3 3

承諾した

承りました。

承

「その件、確かに」



② - 1 3 2

批評する審査員

作品の

できばえを

批



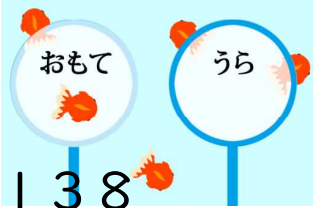
② - 1 3 1

裏^り面^{めん}という

裏^{うら}側^{がわ}を

表^{おもて}と裏^{うら}

裏



② - 1 3 8

完^{かん}済^{さい}だ

全^{ぜん}部^ぶ済^すんだ

返^{へん}済^{さい}が

済

借^{しゃ}金^{きん}の



② - 1 3 7

認^みめて許^{ゆる}すこと

願^{ねが}いを

「認^{にん}可^か」とは

認



② - 1 3 6

「善^{ぜん}は急^{いそ}げ」

進^{すす}んでやろう

善^よいことは

善




② - 1 3 5

裏^り面^{めん}という

裏^{うら}側^{がわ}を

表^{おもて}と裏^{うら}

裏



② - 1 3 8

完^{かん}済^{さい}だ

全^{ぜん}部^ぶ済^すんだ

返^{へん}済^{さい}が

済

借^{しゃ}金^{きん}の




② - 1 3 7

認^みめて許^{ゆる}すこと

願^{ねが}いを

「認^{にん}可^か」とは

認



② - 1 3 6

「善^{ぜん}は急^{いそ}げ」

進^{すす}んでやろう

善^よいことは

善



② - 1 3 5

勤
会社に勤める
お父さん
毎日電車で通勤する

② - 1 4 2

忘
忘却とは
忘れ去る
ことだ

② - 1 4 1

預
預けたお金
預金通帳から
引き出した

② - 1 4 0

胸
胸の周りの
長さを測る
胸囲測定

② - 1 3 9

勤
会社に勤める
お父さん
毎日電車で通勤する

② - 1 4 2

忘
忘却とは
忘れ去る
ことだ

② - 1 4 1

預
預けたお金
預金通帳から
引き出した

② - 1 4 0

胸
胸の周りの
長さを測る
胸囲測定

② - 1 3 9

盟

日英同盟を結び

ロシアと

戦った日本

② - 1 4 6




座

座布団に

正座で

座る

② - 1 4 5



窓

車窓から

眺める

窓の外の景色

② - 1 4 4



裁

訴えや

争いを

裁くことが

「裁判」

② - 1 4 3



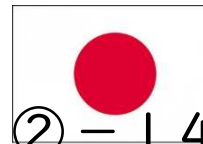

盟

日英同盟を結び

ロシアと

戦った日本

② - 1 4 6

座

座布団に

正座で

座る

② - 1 4 5



窓

車窓から

眺める

窓の外の景色

② - 1 4 4



裁

訴えや

争いを

裁くことが

「裁判」

② - 1 4 3



派

裏千家

茶道に

いろいろな流派あり

表千家や



② - 150

頂

山の頂を

「山頂」という



② - 149


寸

一寸は

約三センチ

寸は「ほんの少しの」

という意味もある



② - 148

否

「君が悪い！」

と聞かや否や

「違う！」と

僕は否定した



② - 147

派

裏千家

茶道に

いろいろな流派あり

表千家や



② - 150

頂

山の頂を

「山頂」という



② - 149

寸

一寸は

約三センチ

寸は「ほんの少しの」

という意味もある



② - 148

否

「君が悪い！」

と聞かや否や

「違う！」と

僕は否定した




② - 147

乱 らん 雑 ざつ な
 使 つか い 方 かた を し て
 部 へ 屋 や が 乱 みだ れ る




② - 1 5 4

冊 さつ
 「冊」は
 一 いっ 冊 さつ ・ 二 に 冊 さつ ・
 「書物・本」のこ と



② - 1 5 3

泉 いずみ
 水 みず の 湧 わ き 出 で る
 と こ ろ が 泉 いずみ
 その 水 みず が
 熱 あつ い と 温 おん 泉 せん



② - 1 5 2

源 みなもと
 流 なが れ 出 で る 水 みず の
 源 みなもと を
 源 げん 流 りゅう と い う




② - 1 5 1

乱 らん 雑 ざつ な
 使 つか い 方 かた を し て
 部 へ 屋 や が 乱 みだ れ る




② - 1 5 4

冊 さつ
 「冊」は
 一 いっ 冊 さつ ・ 二 に 冊 さつ ・
 「書物・本」のこ と



② - 1 5 3

泉 いずみ
 水 みず の 湧 わ き 出 で る
 と こ ろ が 泉 いずみ
 その 水 みず が
 熱 あつ い と 温 おん 泉 せん



② - 1 5 2

源 みなもと
 流 なが れ 出 で る 水 みず の
 源 みなもと を
 源 げん 流 りゅう と い う



② - 1 5 1

紅

葉

も

み

じ

の

葉

っ

ぱ

が

紅

色

に

紅

葉

③

—

1

5

8

疑

「

そ

れ

、

本

当

？

」

疑

わ

し

く

て

半

信

半

疑

だ

②

—

1

5

7

染

「

染

色

」

と

は

布

や

糸

を

染

め

る

こ

と

②

—

1

5

6

従

従

順

に

指

示

に

従

う

か

わ

い

い

愛

犬

②

—

1

5

5

紅

葉

も

み

じ

の

葉

っ

ぱ

が

紅

色

に

紅

葉

③

—

1

5

8

疑

「

そ

れ

、

本

当

？

」

疑

わ

し

く

て

半

信

半

疑

だ

②

—

1

5

7

染

「

染

色

」

と

は

布

や

糸

を

染

め

る

こ

と

②

—

1

5

6

従

従

順

に

指

示

に

従

う

か

わ

い

い

愛

犬

②

—

1

5

5

后

天皇の

お后様が

皇后陛下



③

-

1

6

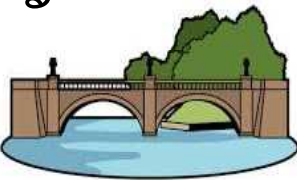
2

皇

天皇が

住んでおられる

皇居



③

-

1

6

1

陞

皇太子に

位を譲られた

天皇陛下



③

-

1

6

0

降

電車を

降りたら

雨が降っていた



③

-

1

5

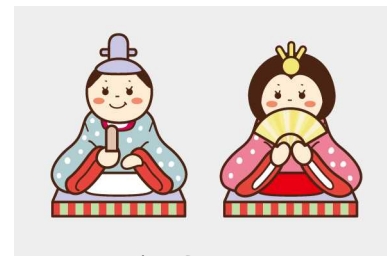
9

后

天皇の

お后様が

皇后陛下



③

-

1

6


2

皇

天皇が

住んでおられる

皇居



③

-

1

6

1

陞

皇太子に

位を譲られた

天皇陛下



③

-

1

6

0

降

電車を

降りたら

雨が降っていた



③

-

1

5

9


諸

諸国・諸島

「諸」は

「多くの」

という意味



③

-

1

6

6

装

服装を

夏の装いにする

「衣替え」



③

-

1

6

5

探

名探偵

手がかり探って

事件を解決



③

-

1

6

4

俳

俳句は

五七五の

短い詩



③

-

1

6

3


諸

諸国・諸島

「諸」は

「多くの」

という意味



③

-

1

6

6

装

服装を

夏の装いにする

「衣替え」



③

-

1

6

5

探

名探偵

手がかり探って

事件を解決



③

-

1

6

4

俳

俳句は

五七五の

短い詩



③

-

1

6

3

将 王将を
取り合う
ゲームが
「将棋」です



③ - 170

衆 大勢の
観衆が
見守る中
ゴールイン



③ - 169

干 干拓
潮干狩り
「干」は「干す」
乾かす「こと」



③ - 168

孝 親孝行
したい時には
親は無し



③ - 167

将 王将を
取り合う
ゲームが
「将棋」です



③ - 170

衆 大勢の
観衆が
見守る中
ゴールイン



③ - 169

干 干拓
潮干狩り
「干」は「干す」
乾かす「こと」



③ - 168

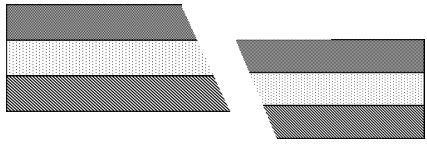
孝 親孝行
したい時には
親は無し



③ - 167

断層になる 地震で崩れ 地層が

層



③ - 178

「次の」という意味だ 翌日は 翌週

翌



③ - 177

「就職」という ことを 職に就く


就



③ - 176

流れに沿うこと 「沿」は 沿道・沿岸

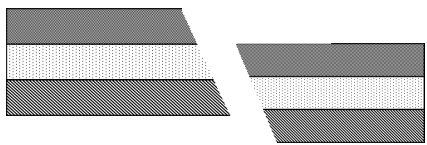
沿



③ - 175

断層になる 地震で崩れ 地層が

層



③ - 178

「次の」という意味だ 翌日は 翌週

翌



③ - 177

「就職」という ことを 職に就く

就



③ - 176

流れに沿うこと 「沿」は 沿道・沿岸

沿



③ - 175

舌

舌がよく

回ることを

滑舌が良いという



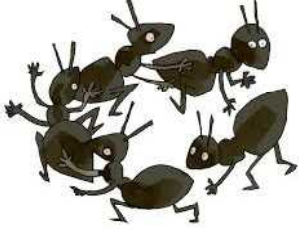
③ - 179

糖

甘い砂糖に

群がる

アリの群れ



③ - 180

除

「除」は

取り除く

という意味だ

除雪・除草



③ - 181

晩

朝から晩まで

研究に没頭する

科学者



③ - 182

舌

舌がよく

回ることを

滑舌が良いという



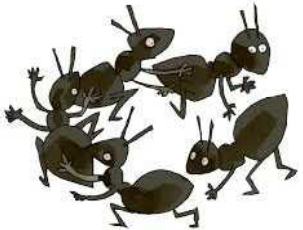
③ - 179

糖

甘い砂糖に

群がる

アリの群れ



③ - 180

除

「除」は

取り除く

という意味

除雪・除草



③ - 181

晩

朝から晩まで

研究に没頭する

科学者



③ - 182

私

私物・私服。

「私」は「私」

・個人の

という意味



③ - 183

操

コントローラーを

巧みに操り

ドローンを

操縦



③ - 184

俵

「俵」とは

わらで編んだ

米の袋 一俵

二俵と数える



③ - 185

聖

オリンピックの

聖火リレー



③ - 186

私

私物・私服

「私」は、「私」

・個人の

という意味



③ - 183

操

コントローラーを

巧みに操り、

ドローンを

操縦



③ - 184

俵

「俵」とは

わらで編んだ

米の袋 一俵

二俵と数える



③ - 185

聖

オリンピックの

聖火リレー



③ - 186

世話を^{せわ}する^{かん}看護師^し
 病人の^{びょうにん}
 手当て^{てあて}や
看



③ - 190

机の上^{つくえうへ}を
 机上^{きじょう}という
机



③ - 189

こと
 打ち克^{うちかつ}つ
 「己^{おのれ}（自分^{じぶん}）」に
 「克己^{こつぎ}」とは
己



③ - 188

「我^{われ}を忘^{わす}れる」
 「我^{われ}を通^{とお}す」
 「我^{われ}」は
 「自分^{じぶん}」という意^い味^みだ
我




③ - 187

世話を^{せわ}する^{かん}看護師^し
 病人の^{びょうにん}
 手当て^{てあて}や
看



③ - 190

机の上^{つくえうへ}を
 机上^{きじょう}という
机



③ - 189

こと
 打ち克^{うちかつ}つ
 「己^{おのれ}（自分^{じぶん}）」に
 「克己^{こつぎ}」とは
己



③ - 188

「我^{われ}を忘^{わす}れる」
 「我^{われ}を通^{とお}す」
 「我^{われ}」は
 「自分^{じぶん}」という意^い味^みだ
我



③ - 187

覧

展覧会・観覧車

「覧」は

「見回す」

眺める「こと」



③－１９１

覧

展覧会・観覧車

「覧」は

「見回す」

眺める「こと」



③－１９１